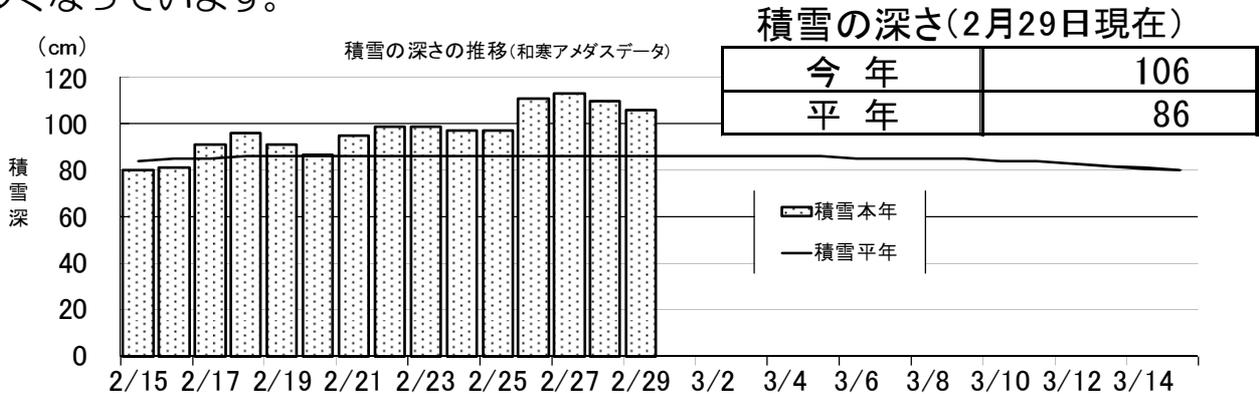


本年の積雪は、2月29日現在、和寒のアメダスで106cmで平年より20cm多くなっています。



融雪が遅れてくることが予想されることから、融雪促進を積極的に行ない、さい先良く稲作をスタートできるようにしましょう。

本田の対応

ケイ酸質の補給と融雪をかねて

ケイカル 120kg /10a 施用

- ・ 地域の多くの水田でケイ酸が不足しています。少なくとも80kg/10aは施用しましょう。アッシュなどと混合して散布すると融雪効果が高まります。
- ・ 散布後20cm以上の積雪があった場合は再散布を検討してください。

本田融雪材 散布の目安

日平均気温が
-3℃以上
になった日

アメダス平年値では

- ・ 士別 3/16
- ・ 朝日 3/17
- ・ 和寒 3/15

育苗ハウスの対応

- ・ 融雪材の散布と状況に応じて除雪も行ない、3月中にはビニルを張れるようにしましょう。置床鎮圧育苗を実施する場合は、特に置床をよく乾燥させる必要があるため、十分注意しましょう。
- ・ 水稻床土のpHの矯正は、前年夏のうちに実施するのが基本ですが、まだ終えていない場合は、できるだけ早く土を採取して測定しましょう。

豊作への足がかりは 良いほ場づくりから